平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場会社名　チタン工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4098　URL　http://www.titankogyo.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 松川　正典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 重永　俊雄　TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,599	5.6	448	79.2	419	98.6	411	124.5
23年3月期第3四半期	4,353	29.0	250	―	210	―	183	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	13.67	―
23年3月期第3四半期	6.09	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,585	4,461	46.5
23年3月期	8,885	4,165	46.9

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　4,461百万円　23年3月期　4,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	2.00	2.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	14.6	590	33.7	550	40.9	460	41.7	15.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	30,276,266 株	23年3月期	30,276,266 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	160,229 株	23年3月期	156,535 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	30,117,815 株	23年3月期3Q	30,124,341 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から緩やかに持ち直しの動きがみられましたものの、ギリシャに端を発した欧州の財政危機問題や円高の長期化など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は新規事業の規模拡大並びに新製品及び既存製品の拡販に全力を傾注し、持続的な成長の実現に向けて懸命に取り組んでまいりました。

その結果、新規事業として事業化を開始したチタン酸リチウムの出荷開始及び超微粒子酸化チタンの出荷数量増加などの成果により、当第３四半期累計期間の売上高は、前年同期を上回る4,599百万円（前年同期比5.6%増）となりました。一方、損益面につきましては、売上高の増加及び生産数量の増加に伴う設備稼働率の上昇などにより、営業利益は448百万円（前年同期比79.2%増）、経常利益は419百万円（前年同期比98.6%増）となりました。また、特別損失として固定資産除却損を計上いたしましたので、四半期純利益は411百万円（前年同期比124.5%増）となりました。

なお、当社は、チタン酸リチウムを新規事業分野と位置づけ、事業化に鋭意取り組み、平成22年10月にチタン酸リチウムの新工場を竣工し、平成23年２月から出荷を開始いたしました。

チタン酸リチウムは電気自動車や高性能電力貯蔵用のリチウムイオン２次電池の部材として、将来の大きな成長が見込まれておりますので、新規事業を強化、拡大するため、現在、当該設備の増設に着手しており、平成24年２月に増設工場の竣工を予定しております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（酸化チタン）

酸化チタンにつきましては、タイの洪水被害による一部ユーザーでの操業停止及び欧州の景気後退による一部ユーザーでの生産調整の影響を受け、10月以降、既存製品の出荷数量が減少いたしました。一方、高付加価値品の超微粒子酸化チタン及びチタン酸リチウムは出荷数量が順調に増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は3,026百万円（前年同期比12.7%増）となり、営業利益は366百万円（前年同期比36.9%増）となりました。

（酸　化　鉄）

酸化鉄につきましては、用途展開により既存製品の新規採用が決定するなどの成果が得られましたものの、欧州の景気後退による一部ユーザーでの生産調整の影響を受け、10月以降、トナー向け新製品の出荷数量が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,519百万円（前年同期比6.1%減）となり、営業利益は60百万円（前年同期は営業損失37百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、受取手形及び売掛金、投資有価証券の減少などがあったものの、現金及び預金、商品及び製品、その他の有形固定資産の増加などから、当第３四半期会計期間末9,585百万円と前事業年度末と比べて700百万円増加いたしました。

負債につきましては、短期借入金、長期借入金、退職給付引当金の減少などがあったものの、その他の流動負債、その他の固定負債の増加などから、当第３四半期会計期間末5,124百万円と前事業年度末に比べて405百万円増加いたしました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少があったものの、利益剰余金の増加により、当第３四半期会計期間末4,461百万円と前事業年度末に比べて295百万円増加いたしました。

（３）業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では平成23年11月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表等
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	623	988
受取手形及び売掛金	1,435	1,337
商品及び製品	1,095	1,408
仕掛品	366	378
原材料及び貯蔵品	379	444
その他	42	31
流動資産合計	3,942	4,589
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,303	1,236
機械及び装置（純額）	2,301	2,308
その他（純額）	451	668
有形固定資産合計	4,056	4,212
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	527	424
その他	368	367
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	884	781
固定資産合計	4,943	4,996
資産合計	8,885	9,585
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	628	649
短期借入金	950	900
1年内返済予定の長期借入金	395	377
未払法人税等	13	9
賞与引当金	57	23
その他	287	852
流動負債合計	2,332	2,811
固定負債		
長期借入金	1,300	1,087
退職給付引当金	983	916
資産除去債務	3	3
その他	100	304
固定負債合計	2,386	2,312
負債合計	4,719	5,124

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年３月31日)	当第３四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	324	676
自己株式	△28	△30
株主資本合計	4,032	4,382
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133	78
評価・換算差額等合計	133	78
純資産合計	4,165	4,461
負債純資産合計	8,885	9,585

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	4,353	4,599
売上原価	3,507	3,565
売上総利益	846	1,033
販売費及び一般管理費	595	584
営業利益	250	448
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	8	12
不動産賃貸料	10	5
その他	8	9
営業外収益合計	30	28
営業外費用		
支払利息	41	41
その他	28	16
営業外費用合計	69	58
経常利益	210	419
特別損失		
固定資産除却損	16	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	－
特別損失合計	23	3
税引前四半期純利益	187	415
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等合計	3	3
四半期純利益	183	411

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
前第３四半期累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）
①　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注２）
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,685	1,618	4,303	49	4,353	―	4,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	2,685	1,618	4,303	49	4,353	―	4,353
セグメント利益又は損失(△)（営業利益）	267	△37	230	19	250	―	250

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。
２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第３四半期累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
①　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注２）
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,026	1,519	4,546	52	4,599	―	4,599
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	3,026	1,519	4,546	52	4,599	―	4,599
セグメント利益（営業利益）	366	60	427	21	448	―	448

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。
２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

以上